



No. sma0045

(2019.10.3)

## サントリー美術館 リニューアル・オープン 事業概要

サントリー美術館（館長：鳥井信吾）は、改修工事に伴う休館（2019年11月11日～2020年5月12日）を経て、2020年5月13日（水）にリニューアル・オープンします。

当館は、1961年の開館以来「生活の中の美」を基本理念とし、六本木移転を機にミュージアムメッセージ「美を結ぶ。美をひらく。」を掲げて活動を展開してきました。2020年はリニューアル・オープンを記念し、国宝・重要文化財をはじめとする当館の収蔵品約3,000件の中から選りすぐりの名品をもとに、3つの企画展を開催します。漆工・陶磁・絵画・ガラス・染織などバラエティに富んだコレクションを、当館ならではのユニークな切り口でお楽しみください。

また今回の改修工事では、更なる安全性向上のための天井耐震強化や、作品の再現性を高めるLED照明の導入、エントランスデザインやショップ・カフェのデザインリニューアル、館内スタッフの制服の刷新など、2021年に60周年を迎える当館の新たな活動の一步として、さまざまなリフレッシュを行います。デザインは、2020年東京オリンピック・パラリンピックのメインスタジアムとなる新国立競技場をはじめ、世界各地の建築プロジェクトで大きな注目を集める建築家・隈研吾氏が手がけます。

（メッセージ）

サントリー美術館は、今後も収蔵品を生かした質の高い企画展開催を軸に、『都市の居間』として皆様が心潤う豊かな時間を過ごせる、そしていつでも感動に出会える美術館を目指します。リニューアル後のサントリー美術館に、どうぞご期待ください。

館長 鳥井信吾

## 《2020年 展覧会》

リニューアル・オープン記念展 I

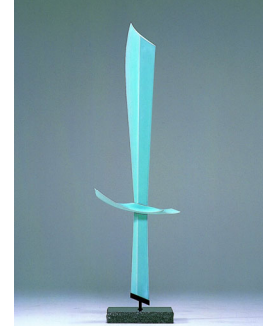
### ART in LIFE, LIFE and BEAUTY (仮称)

会期：2020年5月13日（水）～7月5日（日）

サントリー美術館は「生活の中の美 (Art in Life)」をテーマに展示・収集活動を行ってきました。絵や彫刻だけではなく、日常使う道具や調度に美を認め、生活の中で味わい愉しむ。これがわが国の美意識の特徴です。そしてその美意識のもと、多くの



国宝 浮線綾螺鈿蒔絵手箱  
一合 鎌倉時代 13世紀



遙カノ景〈空へ〉 深見陶治  
一基 平成8年（1996）

名品が見出され育まれてきました。当館では、1961年の開館以来、企画展や収蔵品展を通じて、このような美術作品を広く紹介してきました。

リニューアル後初となる本展では、改めてこのテーマに立ち返り、酒宴で用いられた調度、ハレの場にふさわしい着物や装飾品、豪華な化粧道具などから、異国趣味の意匠を施した品々まで、生活を彩ってきた華やかな優品を厳選してご覧いただきます。また、ジャンルや時代の枠組みに縛られず、古美術から現代アートまでの幅広い作品をクロスさせることで、コレクションの新たな側面に光を当てます。



邸内遊楽図屏風 六曲一隻 江戸時代 17世紀

#### 【主な出品作品】

- |                  |      |             |         |
|------------------|------|-------------|---------|
| ・国宝 浮線綾螺鈿蒔絵手箱    | 一合   | 鎌倉時代        | 13世紀    |
| ・重要文化財 泰西王侯騎馬図屏風 | 四曲一双 | 桃山時代～江戸時代初期 | 17世紀    |
| ・邸内遊楽図屏風         | 六曲一隻 | 江戸時代        | 17世紀    |
| ・朱漆塗矢筈札紺糸素懸威具足   | 一具   | 桃山時代        | 16～17世紀 |
| ・遙カノ景 〈空へ〉 深見陶治  | 一基   | 平成8年（1996）  |         |

リニューアル・オープン記念展 II  
知って楽しい日本美術（仮称）

会期：2020年7月22日（水）～9月22日（火・祝）

江戸時代の絵師・円山応挙が描いた「青楓瀑布図」を目の前にしたとき、私たちはどのような感想を抱くでしょうか。「写実的な表現だ」「色彩がきれいだ」など、何がどう描かれているかを鑑賞し語ることが多いでしょう。しかし、この絵をどこに飾ると素敵か、そこがどんな空間になるかと想像を広げるのも、古来培われてきた美術鑑賞のひとつです。

このように、私たちの祖先が、生活の中でいかに美を味わってきたのかと思いをめぐらすと、一見近づきたい日本美術はぐっと親しくなります。そこで本展では、サントリー美術館の基本理念「生活の中の美」の“愉しみ方”に焦点をあて、当館の個性ゆたかな収蔵品の中から、日本ならではの美意識に根ざした作品をご紹介します。

古の人々の愉しみ方を追体験し、その美意識を再発見することで、現代を生きる私たちも新しい刺激を感じることでしょう。何をどう鑑賞したら良いのか悩める日本美術初心者の方々に向け、教科書では教えてくれない日本美術の面白さの一端をご案内します。



青楓瀑布図 円山応挙  
一幅 江戸時代 天明7年（1787）



かるかや  
二帖 室町時代 16世紀

【主な出品作品】

・ 青楓瀑布図	円山応挙	一幅	江戸時代	天明7年（1787）
・ かるかや		二帖	室町時代	16世紀
・ 鼠草子絵巻		五巻	室町～桃山時代	16世紀
・ 旅枕花入	信楽	一口	室町時代	16世紀
・ 重要文化財 佐竹本・三十六歌仙絵	源順 伝 藤原信実 画・伝 後京極良経 書	一幅	鎌倉時代	13世紀
・ 青緑山水画帖	池大雅	一帖	江戸時代	宝暦13年（1763）

## リニューアル・オープン記念展 III

### 美を結ぶ。美をひらく。(仮称)

会期：2020年10月14日(水)～12月20日(日)

「美を結ぶ。美をひらく。」これは、サントリー美術館が六本木・東京ミッドタウンに移転開館した2007年3月以来掲げてきたミュージアムメッセージです。

たとえば、古きものと新しきものを結ぶ。中世や近世、近代といった時代の枠組みに縛られずに美と美を結ぶ。たとえば、東と西を結ぶ。国や民族といった境界にとらわれずに文化を結ぶ。自由に大胆に結ぶことから、新しい発見がひらかれる。知的感動がひらかれる。結ぶことで人と美に新しい関係をひらいていきたいという願いを、これからも大切にしていまいます。



花器「蜚蜚」

エミール・ガレ (フランス)  
一点 1889-1900年  
サントリー美術館  
(菊地コレクション)



色絵花鳥文六角壺

一合 有田 江戸時代 17世紀

リニューアルを迎えるにあたって、  
本展ではミュージアムメッセージ

「美を結ぶ。美をひらく。」を改めて  
見つめなおし、結ばれ・ひらかれた美の物語とともに、  
サントリー美術館収蔵品から陶磁器、琉球美術、版画、  
ガラスの名品などを中心にご紹介します。

#### 【主な出品作品】

・花器「蜚蜚」 エミール・ガレ (フランス)

一点 1889-1900年

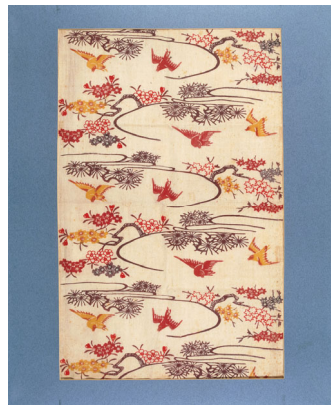
サントリー美術館 (菊地コレクション)

・色絵花鳥文六角壺

一合 有田 江戸時代 17世紀

・紅型裂 白地霞松桜楓に小禽文

一枚 第二尚氏～明治時代 19世紀



紅型裂 白地霞松桜楓に小禽文

一枚 第二尚氏～明治時代 19世紀

※本ニュースリリース掲載の作品はすべてサントリー美術館  
所蔵



## 《リニューアル概要》

お客様にとってより使いやすく、より安全で、魅力的かつ快適な美術館を目指し、施設の改修工事を行います。

### ①安全性向上にむけた更なる耐震強化

館内の更なる安全対策のため、天井の耐震強化を行います。万が一の地震の際にもお客様の怪我を防ぐ、より安全で安心な施設へと改修します。

### ②展示機能の強化と映像音響設備の刷新

展示室内の照明をLEDに変更し、環境負荷低減を促進するとともに、自然光のような豊かな波長を含む高演色LEDで、これまで以上に作品を美しく照らします。また、6階多目的ホール内には、高精細な4K映像が体感いただける映像音響設備を新たに導入し、コンテンツ拡充を図ります。

### ③エントランスを全面リニューアル

当館を設計した隈研吾建築都市設計事務所監修のもと、「和の素材を使用したぬくもりのある空間にマッチする洗練されたデザイン」をコンセプトに、エントランスの空間デザインを全面リニューアルします。また、併設のショップ・カフェの改装とともに、外国人旅行者や初めて来館する方にもイベントやお知らせ等をわかりやすく告知するデジタルサイネージの新設や、館内サインの拡充も図ります。受付・案内スタッフの制服も装いも新たに一新、より良いサービスの提供を目指し、機能面を重視したデザインへと生まれ変わります。



エントランスイメージ  
© KENGO KUMA & ASSOCIATES



ショップイメージ  
© KENGO KUMA & ASSOCIATES



カフェイメージ  
© KENGO KUMA & ASSOCIATES



制服イメージ

## 2020年 サントリー美術館リニューアル・オープン

【基本情報】※2020年5月13日以降

▼会場：サントリー美術館

港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア3階

〈最寄り駅〉 都営地下鉄大江戸線六本木駅出口8より直結

東京メトロ日比谷線六本木駅より地下通路にて直結

東京メトロ千代田線乃木坂駅出口3より徒歩約3分

▼開館時間：10時～18時

※金・土および2020年7月22日、23日、8月9日、9月20日、21日、  
11月2日、22日は20時まで開館

※いずれも入館は閉館の30分前まで

※shop×cafeは展覧会会期中無休

▼休館日：火曜日（ただし2020年6月30日、9月22日、11月3日、  
12月15日は開館）

▼入館料（税込）：

一般1,500円、大学・高校生1,000円、中学生以下無料

※20名様以上の団体は100円割引

▼前売：一般1,300円、大学・高校生800円

サントリー美術館受付、サントリー美術館公式オンラインチケット、  
ローソンチケット、セブンチケットにて取扱

（各種プレイガイドは一般券のみ販売）

※前売券の販売は展覧会開幕前日まで

※サントリー美術館受付での販売は開館日のみ

▼一般お問い合わせ：03-3479-8600

▼ホームページ：<http://suntory.jp/SMA/>

▽プレスからのお問い合わせ：〔学芸〕池田（ART in LIFE, LIFE and BEAUTY）・上野（知って  
楽しい日本美術）・安河内（美を結ぶ。美をひらく。）、〔広報〕吉岡

TEL：03-3479-8604 FAX：03-3479-8644

メールでのお問い合わせ、及びプレス用画像ダウンロードのお申し込み：

10月3日（木）から [https://www.suntory.co.jp/sma/info\\_press/](https://www.suntory.co.jp/sma/info_press/)

以 上